



大津市公報

平成28年12月1日
号外(第70号)

発行所 大津市役所
発行人 大津市
毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

目 次

275 平成28年度上半期の大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務状況の公表について..... 1

告 示

大津市告示第275号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、平成28年4月1日から同年9月30日までの大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務の状況を次のとおり公表する。

平成28年12月1日

大津市長 越 直 美

第1 水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成28年度上半期の給水戸数は15万475戸(対前年同期比0.70%増)、有収水量は1,983万4,149m³(対前年同期比1.34%増)となっており、給水収益は27億3,115万円(対前年同期比1.59%増)となっています。

(建設、改良・維持管理)

平成28年度の水道事業は、「湖都大津・新水道ビジョン」(重点実行計画)(中長期経営計画(経営戦略))に基づき、拡張・改良事業を推進してきました。

拡張事業では、葛川地区簡易水道の上水道への統合が8月1日に完了しました。また、柳が崎浄水場から膳所浄水場までの間の浄水場連絡管整備は、打出浜地先での管布設を実施しています。

改良事業では、健全管路の確保を図り、水の安定供給と漏水防止に努めるため、老朽铸铁管や鉛給水管の布設替工事を計画的に実施しています。平成26年6月に漏水事故が発生した御陵町における老朽配水管布設替事業は引き続き実施しています。平成24年度から実施している膳所浄水場から茶臼山配水池までの老朽送水管の布設替事業も引き続き実施しています。

その他、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行いました。

(経理状況)

平成28年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して5,428万円(1.69%)増加し、32億7,022万円となりました。一方、費用総額は2,517万円(0.98%)減少して、25億3,436万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き7億3,586万円の純利益を計上しました。

業務実績

区 分	単位	平成28年度 上半期	平成27年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期 末 給 水 戸 数	戸	150,475	149,435	1,040	0.70
期 間 有 収 水 量	m ³	19,834,149	19,571,861	262,288	1.34
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	108,383	106,950	1,433	1.34
給 水 収 益	円	2,731,145,179	2,688,473,214	42,671,965	1.59
受 託 工 事 収 益	円	9,816,415	9,842,280	25,865	0.26
そ の 他 収 益	円	529,256,914	517,627,551	11,629,363	2.25

総 収 益	円	3,270,218,508	3,215,943,045	54,275,463	1.69
総 費 用	円	2,534,356,086	2,559,523,656	25,167,570	0.98

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成28年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
上水道事業収益	(2,743,561,101)	上水道事業費用	(2,282,969,611)
給水収益	2,728,771,801	浄水費	373,184,465
その他営業収益	14,789,300	配水費	144,871,340
簡易水道事業収益	(2,373,378)	漏水対策費	13,821,934
給水収益	2,373,378	給水費	179,178,274
受託工事収益	(9,816,415)	業務費	119,578,552
受託工事収益	9,816,415	総係費	92,614,010
営業外収益	(513,791,644)	減価償却費	1,346,266,000
受取利息及び配当金	1,157,427	資産減耗費	13,455,036
加入金	91,400,000	簡易水道事業費用	(12,830,814)
他会計負担金	12,384,525	維持管理費	5,194,814
他会計補助金	6,023,500	減価償却費	7,636,000
長期前受金戻入	351,328,000	受託工事費用	(6,373,454)
雑収益	51,498,192	受託工事費	6,373,454
特別利益	(675,970)	営業外費用	(232,142,251)
固定資産売却益	675,970	支払利息及び企業債取扱諸費	216,700,215
		雑支出	15,442,036
		特別損失	(39,956)
		固定資産売却損	39,956
		当期純利益	(735,862,422)
計	3,270,218,508	計	3,270,218,508

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成28年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	[62,798,675,848]	固定負債	[22,211,862,825]
有形固定資産	(62,742,103,287)	企業債	20,941,981,648
土地	4,075,554,183	リース債務	8,454,825
建物	3,894,997,753	引当金	1,261,426,352
構築物	83,010,706,310	流動負債	[1,323,810,774]
機械及び装置	19,493,262,455	企業債	600,715,436
車両運搬具	66,089,088	未払費用	2,857,973
工具、器具及び備品	472,919,880	前受金	448,718,350
リース資産	31,471,137	その他流動負債	271,519,015
建設仮勘定	1,061,918,512	繰延収益	[14,613,756,952]

減価償却累計額	49,364,816,031	長期前受金	30,637,465,731
無形固定資産	(50,972,561)	長期前受金収益化累計額	16,023,708,779
施設利用権	8,289,669	資本金	[26,994,249,526]
庁舎使用権	36,296,133	資本金	26,994,249,526
電話加入権	5,807,699	剰余金	[1,640,657,122]
預託金	227,060	資本剰余金	822,977,809
ソフトウェア	352,000	利益剰余金	817,679,313
投資その他の資産	(5,600,000)	当期純利益	[735,862,422]
流動資産	[4,721,523,773]		
現金・預金	569,471,878		
現金・預金(大口預金)	3,500,000,000		
未収金	494,246,151		
未収金貸倒引当金	19,047,000		
貯蔵品	37,485,231		
前払金	44,094,000		
その他流動資産	95,273,513		
計	67,520,199,621	計	67,520,199,621

3 平成27年度決算状況

総括事項

平成27年度の水道事業は、安全安心な水道水を安定して供給するため、平成20年3月に策定した「大津市水道ビジョン・重点実行計画」に基づき、事業を推進してきました。

経営面では、有収水量は前年度並みとなりましたが、給水収益が微増となったことから純利益を計上しました。

平成27年度の業務状況は次のとおりです。

給水状況を前年度と比べると、年度末現在給水戸数は1,250戸(対前年比0.84%)増加して149,209戸となり、有収水量は約3万m³(対前年比0.08%)増加して3,892万m³となりました。

決算状況は、収入総額65億6,603万円、支出総額は59億5,670万円で差引き6億933万円の純利益を計上することとなりました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成27年度	平成26年度	比較増減	伸び率(%)
配水量	m ³	41,703,687	42,199,565	495,878	1.18
一日平均配水量	m ³	113,945	115,615	1,670	1.44
有収水量	m ³	38,924,620	38,892,214	32,406	0.08
一日平均有収水量	m ³	106,351	106,554	203	0.19
年度末現在給水戸数	戸	149,209	147,959	1,250	0.84
年度末現在給水人口	人	340,576	340,304	272	0.08

イ 給水戸数内訳(事業別、用途区分別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減(戸)	伸び率(%)
	戸数(戸)	構成比(%)	戸数(戸)	構成比(%)		
上水道	148,990	99.85	147,691	99.82	1,299	0.88
簡易水道	219	0.15	268	0.18	49	18.28
計	149,209	100.00	147,959	100.00	1,250	0.84

家 庭 用	138,317	92.70	137,147	92.69	1,170	0.85
工 場 用	225	0.15	223	0.15	2	0.90
商 業 用	6,181	4.14	6,165	4.17	16	0.26
公用・学校用	1,549	1.04	1,547	1.05	2	0.13
医 療 用	435	0.29	446	0.30	11	2.47
公衆浴場用	12	0.01	12	0.01	0	0.00
そ の 他	2,490	1.67	2,419	1.63	71	2.94
計	149,209	100.00	147,959	100.00	1,250	0.84

ウ 給水量内訳(事業別、用途区別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	有収水量 (m ³)	構成比 (%)	有収水量 (m ³)	構成比 (%)		
上 水 道	38,891,914	99.92	38,856,854	99.91	35,060	0.09
簡 易 水 道	32,706	0.08	35,360	0.09	2,654	7.51
計	38,924,620	100.00	38,892,214	100.00	32,406	0.08
家 庭 用	30,070,101	77.26	30,220,915	77.70	150,814	0.50
工 場 用	1,114,664	2.86	1,048,437	2.70	66,227	6.32
商 業 用	4,759,692	12.23	4,314,593	11.09	445,099	10.32
公用・学校用	1,895,693	4.87	2,012,427	5.17	116,734	5.80
医 療 用	711,654	1.83	828,319	2.13	116,665	14.08
公衆浴場用	20,717	0.05	22,028	0.06	1,311	5.95
そ の 他	352,099	0.90	445,495	1.15	93,396	20.96
計	38,924,620	100.00	38,892,214	100.00	32,406	0.08

エ 事業収益

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業収益	5,332,960,651	81.22	5,308,097,820	77.74	24,862,831	0.47
簡易水道事業収益	5,518,609	0.08	5,955,869	0.09	437,260	7.34
受託工事収益	12,537,400	0.19	22,980,129	0.34	10,442,729	45.44
営業外収益	1,207,448,156	18.39	1,231,534,034	18.03	24,085,878	1.96
特別利益	7,561,871	0.12	259,691,271	3.80	252,129,400	著減
計	6,566,026,687	100.00	6,828,259,123	100.00	262,232,436	3.84

オ 事業費用

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業費用	5,400,613,320	90.66	5,261,443,928	72.21	139,169,392	2.65
簡易水道事業費用	57,812,910	0.97	53,568,346	0.74	4,244,564	7.92
受託工事費用	13,014,554	0.22	41,914,831	0.58	28,900,277	68.95
営業外費用	481,941,986	8.09	470,887,898	6.46	11,054,088	2.35
特別損失	3,316,881	0.06	1,458,067,689	20.01	1,454,750,808	著減
計	5,956,699,651	100.00	7,285,882,692	100.00	1,329,183,041	18.24

カ 平成27年度純利益

609,327,036円

第2 下水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成28年度上半期の調定件数は78万3,005件(対前年同期比1.43%増)、期間有収水量は1,876万3,004m³(対前年同期比2.36%増)となっており、また、下水道使用料は34億9,809万円(対前年同期比3.41%増)となっています。

(建設、改良・維持管理)

水環境の保全対策では、平成25年度に完了した合流式下水道改善事業の事後評価を行っています。また、瀬田浦クリークの水質改善を図るため、水質浄化施設の整備事業を推進しています。

地震対策事業としては、「下水道総合地震対策計画」に基づき、引き続き耐震化対策事業を推進しています。今年度は、施設の耐震化と併せ、北部地域文化センターに10基分のマンホールトイレ用管渠を敷設します。

水再生センターでは、系水処理施設を最適に再構築するためのストックマネジメント計画の策定に着手しました。あわせて、未利用エネルギーである下水熱の有効性を実証するため実験施設を設置します。

その他、下水道雨水基本計画に基づく浸水対策の推進、下水道長寿命化計画に基づく施設の改築更新、下水道普及率の向上を目指した未整備地区の汚水管渠整備等を行っています。

(経理状況)

平成28年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して4億5,334万円(7.92%)減少し、52億7,006万円となりました。一方、費用総額は8,201万円(1.97%)減少して、40億8,898万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き11億8,108万円の純利益を計上しました。

平成28年度は前年度と比較して、一般会計からの繰入金が増加しているため、収益が増加しています。

業務実績

区 分	単位	平成28年度 上半期	平成27年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
調定件数	件	783,005	771,976	11,029	1.43
期間有収水量	m ³	18,763,004	18,330,984	432,020	2.36
一日平均有収水量	m ³	102,530	100,169	2,361	2.36
下水道使用料	円	3,498,093,209	3,382,806,487	115,286,722	3.41
その他収益	円	1,771,969,067	2,340,595,729	568,626,662	24.29
総収益	円	5,270,062,276	5,723,402,216	453,339,940	7.92
総費用	円	4,088,978,397	4,170,984,613	82,006,216	1.97

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況
損益計算書

損益計算書

平成28年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,759,264,309)	営 業 費 用	(3,472,564,057)
下 水 道 使 用 料	3,498,093,209	管 渠 費	60,885,814
雨 水 処 理 負 担 金	261,000,000	ポ ン プ 場 費	41,809,014
そ の 他 営 業 収 益	171,100	処 理 場 費	227,741,459
営 業 外 収 益	(1,510,784,137)	流 域 下 水 道 管 理 費	537,202,213
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,932,685	業 務 費	138,484,913
他 会 計 負 担 金	387,000,000	総 係 費	75,166,114
他 会 計 補 助 金	49,000,000	減 価 償 却 費	2,389,148,000
長 期 前 受 金 戻 入	1,059,616,000	資 産 減 耗 費	1,387,000
雑 収 益	13,235,452	そ の 他 営 業 費 用	739,530
特 別 利 益	(13,830)	営 業 外 費 用	(616,414,340)
固 定 資 産 売 却 益	13,830	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	615,353,044
		雑 支 出	1,061,296
		当 期 純 利 益	(1,181,083,879)
計	5,270,062,276	計	5,270,062,276

貸借対照表

貸借対照表

平成28年9月30日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[137,266,214,386]	固 定 負 債	[49,916,497,018]
有 形 固 定 資 産	(128,730,928,936)	企 業 債	49,757,212,965
土 地	1,215,268,455	リ ー 入 債 務	5,766,053
建 物	2,019,373,484	引 当 金	153,518,000
構 築 物	142,486,846,238	流 動 負 債	[3,355,123,313]
機 械 及 び 装 置	10,344,141,603	企 業 債	2,222,068,507
車 両 運 搬 具	5,263,417	前 受 金	841,000,000
工 具、器 具 及 び 備 品	8,184,910	そ の 他 流 動 負 債	292,054,806
リ ー 入 資 産	19,137,492	繰 延 収 益	[60,016,900,256]
建 設 仮 勘 定	595,350,221	長 期 前 受 金	73,256,544,149
減 価 償 却 累 計 額	27,962,636,884	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	13,239,643,893
無 形 固 定 資 産	(8,518,665,450)	資 本 金	[28,530,333,515]
地 上 権	271,456	資 本 金	28,530,333,515
施 設 利 用 権	8,518,365,334	剰 余 金	[2,280,875,125]
そ の 他 無 形 固 定 資 産	28,660	資 本 剰 余 金	179,586,463
投 資 そ の 他 資 産	(16,620,000)	利 益 剰 余 金	2,101,288,662
流 動 資 産	[8,014,598,720]	当 期 純 利 益	[1,181,083,879]
現 金 ・ 預 金	7,209,386,051		
未 収 金	677,756,237		
未 収 金 貸 倒 引 当 金	28,601,972		
前 払 金	74,961,000		
そ の 他 流 動 資 産	81,097,404		

計	145,280,813,106	計	145,280,813,106
---	-----------------	---	-----------------

3 平成27年度決算状況

総括事項

平成27年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するため、第 期大津市(下水道事業)中期経営計画に基づき、管渠整備や施設の改築更新、施設の地震対策に取り組みました。

経営面では、費用が増加したものの、使用料収入が増加に転じたことにより純利益を計上することができました。

平成27年度の業務状況は次のとおりです。

下水道普及率は0.30ポイント増加して98.30%となり、水洗化率は0.10ポイント増加して97.60%となりました。年間有収水量は19万989m³(0.52%)増加して3,689万m³となりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は1億7,023万円(1.50%)増加して115億1,972万円となりました。一方、支出総額は5,748万円(0.61%)増加して94億1,843万円となりました。

この結果、平成27年度決算において、21億129万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成27年度	平成26年度	比較増減	伸び率 (%)
下 水 道 普 及 率	%	98.30	98.00	0.30	0.31
水 洗 化 率	%	97.60	97.50	0.10	0.10
年 間 総 処 理 水 量	m ³	50,380,486	47,840,081	2,540,405	5.31
年 間 有 収 水 量	m ³	36,885,326	36,694,337	190,989	0.52

イ 調定件数内訳(処理区別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件 数 (件)	構成比 (%)	件 数 (件)	構成比 (%)		
大 津 処 理 区	530,288	34.04	524,063	34.21	6,225	1.19
藤 尾 処 理 区	24,378	1.56	24,132	1.57	246	1.02
湖 南 中 部 処 理 区	486,455	31.23	482,651	31.51	3,804	0.79
湖 西 処 理 区	516,672	33.17	501,109	32.71	15,563	3.11
計	1,557,793	100.00	1,531,955	100.00	25,838	1.69

ウ 汚水量内訳(処理区別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	汚水量 (m ³)	構成比 (%)	汚水量 (m ³)	構成比 (%)		
大 津 処 理 区	12,332,936	33.44	12,346,830	33.65	13,894	0.11
藤 尾 処 理 区	503,103	1.36	502,670	1.37	433	0.09
湖 南 中 部 処 理 区	11,369,105	30.82	11,348,511	30.93	20,594	0.18
湖 西 処 理 区	12,680,182	34.38	12,496,326	34.05	183,856	1.47
計	36,885,326	100.00	36,694,337	100.00	190,989	0.52

工 事業収益

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
下水道使用料	6,809,706,801	59.11	6,775,963,155	59.70	33,743,646	0.50
雨水処理負担金	549,547,974	4.77	450,056,638	3.97	99,491,336	22.11
その他営業収益	687,700	0.01	150,400	0.00	537,300	357.25
営業外収益	4,159,670,850	36.11	4,123,272,375	36.33	36,398,475	0.88
特別利益	103,156	0.00	41,157	0.00	61,999	150.64
計	11,519,716,481	100.00	11,349,483,725	100.00	170,232,756	1.50

オ 事業費用

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
営業費用	8,021,411,742	85.17	7,838,853,899	83.74	182,557,843	2.33
営業外費用	1,384,029,227	14.69	1,476,217,039	15.77	92,187,812	6.24
特別損失	12,986,850	0.14	45,880,838	0.49	32,893,988	71.69
計	9,418,427,819	100.00	9,360,951,776	100.00	57,476,043	0.61

カ 平成27年度純利益

2,101,288,662円

第3 ガス事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成28年度上半期の供給戸数は9万5,671戸(対前年同期比0.61%増)、販売量は7,873万³m(対前年同期比0.72%増)となりました。また、ガス売上は50億1,571万円(対前年同期比29.54%減)、受注工事収益は1億8,278万円(対前年同期比10.48%減)となりました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業については、昨年度に引き続き、市北部及び市南東部地区において、供給区域内の未供給地区に対して導管網の整備を進めています。

改良事業については、都市ガスの長期安定供給を図るため、経年管の布設替え、耐震性ガス導管網の整備を引き続き行い、ガス漏れの予防保全、災害に強いガス設備の整備に努めています。

保安対策については、ガス設備安全点検及びガス機器の安全使用の周知、安全装置付機器への取替え促進を実施したほか、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行うとともに、ガス漏れ、火災発生時に緊急出動を行い、二次災害の防止に努めています。

(経理状況)

平成28年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して21億1,766万円(28.80%)減少し、52億3,412万円となりました。一方、費用総額は21億312万円(29.53%)減少して50億1,771万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き2億1,641万円の純利益を計上しました。

平成28年度は前年度と比較して、ガスの原料価格が大きく下落しており、これに伴いガス売上、ガス購入費とも大きく減少しています。

業務実績

区 分	単位	平成28年度 上半期	平成27年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
-----	----	---------------	---------------	------	------------

期 末 供 給 戸 数	戸	95,671	95,095	576	0.61
期 間 販 売 量	m ³	78,726,994	78,165,455	561,539	0.72
一 日 平 均 販 売 量	m ³	430,202	427,134	3,068	0.72
ガ ス 売 上	円	5,015,705,545	7,118,009,865	2,102,304,320	29.54
受 注 工 事 収 益	円	182,781,208	204,170,446	21,389,238	10.48
そ の 他 収 益	円	35,631,951	29,601,331	6,030,620	20.37
総 収 益	円	5,234,118,704	7,351,781,642	2,117,662,938	28.80
総 費 用	円	5,017,712,295	7,120,829,863	2,103,117,568	29.53

販売量は、45MJ / m³に換算したものです。

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成28年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
製 品 売 上	(5,015,705,545)	営 業 費 用	(4,858,495,357)
ガ ス 売 上	5,015,705,545	売 上 原 価	3,473,205,358
営 業 雑 収 益	(182,932,186)	供 給 販 売 費	1,284,696,198
受 注 工 事 収 益	182,781,208	一 般 管 理 費	100,593,801
そ の 他 営 業 収 益	150,978	営 業 雑 費 用	(159,019,561)
営 業 外 収 益	(35,480,973)	受 注 工 事 費 用	159,019,561
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,253,040	営 業 外 費 用	(73,591)
長 期 前 受 金 戻 入	3,213,000	支 払 利 息	73,591
雑 収 益	30,014,933	特 別 損 失	(123,786)
		固 定 資 産 売 却 損	123,786
		当 期 純 利 益	(216,406,409)
計	5,234,118,704	計	5,234,118,704

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成28年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[11,096,582,537]	固 定 負 債	[1,027,178,830]
有 形 固 定 資 産	< 11,073,046,441 >	リ ー 入 債 務	8,811,830
供 給 設 備	(45,136,612,694)	引 当 金	1,018,367,000
土 地	603,555,512	流 動 負 債	[1,072,582,394]
建 物	1,156,983,008	買 掛 金	533,383,262
構 築 物	154,561,888	未 払 金	14,779
機 械 及 び 装 置	987,325,524	前 受 金	107,929,944
導 管	41,740,533,962	預 り 金	12,157,411
ガ ス メ ー タ ー	265,942,285	そ の 他 流 動 負 債	419,096,998
車 両 運 搬 具	63,821,940	繰 延 収 益	[91,933,072]

工具、器具及び備品	163,888,575	長期前受金	106,040,161
供給設備減価償却累計額	(34,724,215,585)	長期前受金収益化累計額	14,107,089
業務設備	(378,272,550)	資本金	[20,042,265,792]
土地	129,914,228	剰余金	[3,818,423,576]
建築物	161,317,134	資本剰余金	< 122,700 >
構築物	12,051,090	受贈財産評価額	122,700
車両運搬具	3,184,717	利益剰余金	< 3,818,300,876 >
工具、器具及び備品	37,003,918	原価変動調整積立金	950,000,000
リース資産	34,801,463	災害対策積立金	2,300,000,000
業務設備減価償却累計額	(176,121,344)	当年度未処分利益剰余金	568,300,876
建設仮勘定	(458,498,126)	当期純利益	[216,406,409]
無形固定資産	< 930,096 >		
電話加入権	711,976		
預託金	218,120		
投資その他資産	< 22,606,000 >		
流動資産	[15,172,207,536]		
現金・預金	1,534,628,664		
現金・預金(大口預金)	11,500,000,000		
売掛金	741,054,504		
売掛金貸倒引当金	37,197,000		
未収金	17,191,481		
有価証券	1,000,000,000		
貯蔵品	40,479,015		
前払金	33,809,400		
その他流動資産	342,241,472		
計	26,268,790,073	計	26,268,790,073

3 平成27年度決算状況

総括事項

平成27年度のガス事業は、安定供給や保安の確保を図るため、第 期大津市(ガス事業)中期経営計画に基づき、導管網の整備を計画的に実施し、施設の整備改良や需要家設備の安全点検などの保安対策、地震等災害対策に取り組みました。

経営環境としては、原油市場が世界的に供給過剰状態となり、原油価格が下落したものの、大口需要家による生産調整や年間平均気温の上昇、省エネ意識の浸透による節約の影響などから平成27年度も厳しい状況でした。

経営面では、工業用を中心に販売量が減少しましたが、経費が減少したことなどにより、収益的収支において昨年度に引き続いて純利益を計上することができました。

平成27年度の業務状況は次のとおりです。

供給状況を前年度と比べると、年度末現在供給戸数は478戸(0.50%)増加して95,260戸に、一方、販売量は933万³m(5.46%)減少して1億6,153万³mとなりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は54億7,719万円(27.17%)減少して146億7,825万円となりました。一方、支出総額は41億1,483万円(22.58%)減少して141億995万円となりました。平成27年度は、ガスの原料価格が下落したため、ガス売上、ガス購入費とも減少することとなりました。

この結果、平成27年度決算において、5億6,830万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成27年度	平成26年度	比較増減	伸び率(%)
購 入 量	m ³	156,718,128	166,528,123	9,809,995	5.89
一日平均購入量	m ³	428,192	456,242	28,050	6.15

販 売 量	m ³	161,528,395	170,854,276	9,325,881	5.46
一 日 平 均 販 売 量	m ³	441,334	468,093	26,759	5.72
年 度 末 現 在 供 給 戸 数	戸	95,260	94,782	478	0.50

イ 販売件数内訳(ガス種別 用途別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (戸)	伸び率 (%)
	戸 数 (戸)	構成比 (%)	戸 数 (戸)	構成比 (%)		
都 市 ガ ス	95,240	99.98	94,761	99.98	479	0.51
L P G	20	0.02	21	0.02	1	4.76
計	95,260	100.00	94,782	100.00	478	0.50
家 庭 用	91,683	96.25	91,187	96.21	496	0.54
工 業 用	71	0.07	70	0.07	1	1.43
商 業 用	2,456	2.58	2,486	2.62	30	1.21
公 用	801	0.84	788	0.83	13	1.65
医 療 用	249	0.26	251	0.27	2	0.80
計	95,260	100.00	94,782	100.00	478	0.50

ウ 販売量内訳(ガス種別 用途別)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	販売量 (m ³)	構成比 (%)	販売量 (m ³)	構成比 (%)		
都 市 ガ ス	161,522,680	100.00	170,848,258	100.00	9,325,578	5.46
L P G	5,715	0.00	6,018	0.00	303	5.04
計	161,528,395	100.00	170,854,276	100.00	9,325,881	5.46
家 庭 用	35,359,038	21.89	36,684,869	21.47	1,325,831	3.61
工 業 用	103,055,070	63.80	109,666,480	64.19	6,611,410	6.03
商 業 用	11,522,564	7.13	12,060,381	7.06	537,817	4.46
公 用	8,282,612	5.13	8,799,837	5.15	517,225	5.88
医 療 用	3,309,111	2.05	3,642,709	2.13	333,598	9.16
計	161,528,395	100.00	170,854,276	100.00	9,325,881	5.46

エ 事業収益

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
製 品 売 上	14,161,594,384	96.48	18,072,763,312	89.67	3,911,168,928	21.64
営 業 雑 収 益	410,794,897	2.80	440,395,374	2.18	29,600,477	6.72

営業外収益	105,860,790	0.72	155,032,924	0.77	49,172,134	31.72
特別利益	208	0.00	1,487,245,000	7.38	1,487,244,792	著減
計	14,678,250,279	100.00	20,155,436,610	100.00	5,477,186,331	27.17

オ 事業費用

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
売上原価	10,357,595,401	73.40	14,211,033,758	77.98	3,853,438,357	27.12
供給販売費	2,800,373,808	19.85	3,147,441,152	17.27	347,067,344	11.03
一般管理費	352,560,313	2.50	284,737,223	1.56	67,823,090	23.82
営業雑費用	408,765,745	2.90	435,294,054	2.39	26,528,309	6.09
営業外費用	30,695,414	0.22	70,655,796	0.39	39,960,382	56.56
特別損失	159,958,722	1.13	75,614,985	0.41	84,343,737	111.54
計	14,109,949,403	100.00	18,224,776,968	100.00	4,114,827,565	22.58

カ 平成27年度純利益
568,300,876円

第4 病院事業

1 事業の概況

平成28年度上半期における患者数は、入院患者数66,881人、外来患者数110,296人、合計で177,177人となり、前年同期に比べ、入院患者数で896人(1.4%)増加し、外来患者数で3,933人(3.4%)減少しました。

次に、当期における収支状況については、病院事業収益は医業収益が54億9,683万円、医業外収益が8億6,990万円で総額63億6,673万円となり、前年同期に比べ7億6,854万円(13.7%)の増加となりました。

一方、病院事業費用は54億850万円となり、前年同期に比べ974万円(0.2%)の増加となり、当期末の純利益は9億5,823万円(前年同期は1億9,942万円の純利益)となりました。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成28年4月1日から同年9月30日まで
(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	[6,366,726,772]	病院事業費用	[5,408,499,426]
医業収益	(5,496,826,958)	医業費用	(5,127,973,425)
入院収益	3,628,733,163	給与費	3,062,809,452
外来収益	1,485,424,977	材料費	1,022,307,278
その他医業収益	382,668,818	経費	563,459,170
医業外収益	(869,899,814)	減価償却費	469,482,000
看護専門学校収益	18,932,897	研究研修費	9,915,525
受取利息配当金	8,020	医業外費用	(280,526,001)

他会計負担金	498,989,000	看護専門学校費	74,848,373
他会計補助金	221,341,000	支払利息及び 企業債取扱諸費	143,216,981
補助金	75,000	託児所費	5,467,410
託児所収益	1,133,898	訪問看護ステーション費	31,846,907
訪問看護 ステーション収益	39,374,778	長期前払消費税償却	24,594,000
長期前受金戻入	23,964,000	雑損失	552,330
その他医業外収益	66,231,221	当期純利益	[958,227,346]
計	6,366,726,772	計	6,366,726,772

貸借対照表

貸借対照表

平成28年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[16,796,996,867]	固 定 負 債	[13,354,708,549]
土 地	6,033,388,819	企 業 債	12,600,729,921
建 物	22,823,190,342	リ ー ス 債 務	184,484,260
建物減価償却累計額	14,505,909,203	引 当 金	569,494,368
構 築 物	172,527,405	流 動 負 債	[1,140,828,692]
構築物減価償却累計額	110,836,038	企 業 債	776,426,681
器 械 備 品	4,561,303,933	リ ー ス 債 務	38,513,046
器械備品減価償却累計額	3,233,530,847	未 払 金	272,764,613
車 両 運 搬 具	6,900,000	そ の 他 流 動 負 債	53,124,352
車両運搬具減価償却累計額	1,540,860	繰 延 収 益	[981,677,534]
リ ー ス 資 産	466,075,990	長 期 前 受 金	1,809,469,267
リース資産減価償却累計額	136,223,649	長期前受金収益化累計額	827,791,733
その他有形固定資産	7,250,000	資 本 金	[18,214,625,234]
電 話 加 入 権	1,165,154	資 本 金	18,214,625,234
ソフトウェア等	404,401,470	剰 余 金	[15,480,124,879]
破産更生債権等	66,921,910	資 本 剰 余 金	7,250,000
貸倒引当金	66,921,910	利 益 剰 余 金	15,487,374,879
長期前払消費税	308,834,351	当 期 純 利 益	[958,227,346]
流 動 資 産	[2,372,945,609]		
現 金 ・ 預 金	375,911,965		

未 収 金	1,777,100,006		
貸 倒 引 当 金	1,034,471		
貯 蔵 品	76,561,618		
前 払 金	6,163,000		
そ の 他 流 動 資 産	138,243,491		
計	19,169,942,476	計	19,169,942,476

3 平成27年度の決算状況

平成27年度の病院事業は、平成24年3月に策定した「経営計画」の第二期ステージとなり、以前にも増してがんに対応できる病院として、第一期の3年間に集中して整備してきた内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」、放射線治療装置「リニアック」などの高度先進医療機器を十分に活用し、高度で良質な医療を提供してまいりました。

経営面については、収益では、入院、外来とも一日当たりの単価は増加し、昨年度に引き続いて100億円を超えましたが、入院患者が減少したことなどにより、対前年比で減少いたしました。一方、費用では、経費や減価償却費などは減少しましたが、退職引当のための退職給付費等の人件費が大きく増加したことで、収支において前年を上回る純損失となりました。

当期における年間延べ患者数については、361,684人(入院患者数132,011人、外来患者数229,673人)で、前年度に比べ15,186人(4.0%)の減少となりました。

また、収支の状況については、病院事業収益は医業収益が107億7,016万円で、前年度に比べ9,359万円(0.9%)の減少となり、医業外収益等は11億6,855万円で、前年度に比べ7,155万円(5.8%)の減少となり、合計119億3,871万円で、前年度に比べ1億6,514万円(1.4%)の減少となりました。

一方、病院事業費用は、医業費用が125億8,949万円で、前年度に比べ4億4,269万円(3.6%)の増加となり、医業外費用は9億1,635万円で、前年度に比べ554万円(0.6%)の増加となり、合計135億584万円で、前年度に比べ9,116万円(0.7%)の増加となりました。

この結果、平成27年度決算は、15億6,713万円の純損失を計上することとなりました。

第5 介護老人保健施設事業

1 事業の概況

平成28年度上半期における短期入所を含む入所者数は10,134人で、通所者数は1,549人であり、前年同期に比べ、短期入所者を含む入所者数は5,021人(33.1%)減少し、通所者数も39人(2.5%)減少しました。

次に、当期における収支状況については、収入において、施設運営事業収益が1億4,335万円、施設運営事業外収益が1億2,656万円で総額2億6,991万円となり、前年同期に比べ6,293万円(18.9%)の減少となりました。

一方、支出において、施設運営事業費用は2億1,533万円、施設運営事業外費用が1,785万円で総額2億3,319万円となり、前年同期に比べ1,173万円(4.8%)の減少となり、当期末の純利益は3,671万円(前年同期は8,791万円の純利益)となりました。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成28年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
施設運営事業収益	(143,350,484)	施設運営事業費用	(215,334,983)
介護報酬収益	123,890,183	給 与 費	156,785,300
施設利用料収益	18,877,051	材 料 費	3,374,379
その他施設運営事業収益	583,250	経 費	41,090,367
施設運営事業外収益	(126,562,350)	研 修 費	106,179
受取利息配当金	416	減 価 償 却 費	13,978,758

他 会 計 負 担 金	117,318,000	施 設 運 営 事 業 外 費 用	(17,859,779)
老人介護支援センター事業収益	9,087,226	支払利息及び企業債取扱諸費	11,505,892
その他施設運営事業外収益	156,708	老人介護支援センター事業費	6,353,887
		当 期 純 利 益	[36,718,072]
計	269,912,834	計	269,912,834

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成28年9月30日現在
(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	(1,199,679,601)	固 定 負 債	(796,730,812)
土 地	643,950,000	企 業 債	594,514,052
建 物	1,342,825,550	リ ー ス 債 務	19,069,861
建物減価償却累計額	854,037,203	引 当 金	183,146,899
医療用器械備品	3,671,287	流 動 負 債	(37,752,260)
医療用器械備品減価償却累計額	3,487,722	企 業 債	28,933,836
その他器械備品	20,961,375	リ ー ス 債 務	8,217,991
その他器械備品減価償却累計額	17,890,899	そ の 他 流 動 負 債	600,433
車 両	814,346	繰 延 収 益	(27,954)
車両減価償却累計額	773,628	長 期 前 受 金	559,084
リ ー ス 資 産	64,842,038	長期前受金収益化累計額	531,130
リース資産減価償却累計額	6,326,343	資 本 金	(988,301,663)
電話加入権	436,800	自 己 資 本 金	988,301,663
ソフトウェア等	4,725,000	剰 余 金	(579,104,903)
破産更生債権等	4,000	利 益 剰 余 金	579,104,903
貸倒引当金	35,000	当 期 純 利 益	(36,718,072)
流 動 資 産	(80,746,257)		
現金・預金	35,242,019		
未 収 金	42,564,650		
貸倒引当金	1,125,324		
その他流動資産	4,064,912		
計	1,280,425,858	計	1,280,425,858

3 平成27年度の決算状況

平成27年度は、通所者数は前年度を上回りましたが、入所者数が大きく減少したことにより、施設運営事業収益は大幅な減少となりました。一方、委託費や減価償却費等の増加に伴い、施設運営事業費用は増加となりました。この結果、施設運営事業収支は損失を計上しましたが、繰入金増額により経常収支においては純利益となりました。

業務状況については、入所は延べ28,900人で、前年度に比べ4,399人減少し、うち短期入所は延べ763人で、前年度に比べ121人の減少でした。通所は延べ3,153人で、前年度に比べ215人の増加となりました。

また、収支の状況については、収入においては、施設運営事業収益が3億9,646万円で、前年度に比べ4,674万円(10.5%)の減少となり、施設運営事業外収益は2億4,291万円で、前年度に比べ7,597万円(45.5%)の増加となりました。収入の合計は6億3,938万円で、前年度に比べ2,223万円(3.6%)の増加となりました。

一方、支出においては、施設運営事業費用が5億8,484万円で、前年度に比べ1,881万円(3.3%)の増加となり、施設運営事業外費用は4,027万円で、前年度に比べ109万円(2.6%)の減少となりました。支出の合計は6億2,512万円となり、前年度に比べ1億7,288万円(21.7%)の減少となりました。

この結果、平成27年度決算は、1,426万円の純利益を計上することとなりました。

また、資本的収入は、出資金が3,795万円であり、資本的支出は、建設改良費の1,815万円及び企業債償還金の5,692万円で、収支の不足額3,713万円は、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

なお、本年度において、資金不足は生じていません。